

令和5年11月24日

文化審議会の答申（重要文化財（建造物）の指定）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和5年11月24日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、9件の建造物を重要文化財に新規に指定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、国宝・重要文化財（建造物）は、2,574件、5,457棟（うち国宝231件、295棟を含む。）となる予定です。

◎今回の答申における主なもの

【重要文化財】 金剛峯寺本坊 12棟 和歌山県伊都郡高野町
金剛峯寺は高野山真言宗の総本山である。本坊の中心をなす大主殿及び奥書院は文久2年（1862）の建立で、客殿と庫裏、書院を接続した破格の規模と偉容を示す複合建築。高野山諸寺院の規範となる間取と伝統的かつ複雑な屋根形式を示す。上段などの座敷は意匠に優れ、格式が高い。境内には江戸前期に遡る真然堂、江戸中期の経蔵や山門などの建造物が群として残る。

【重要文化財】 旧広島陸軍被服支廠倉庫施設 4棟 広島県広島市
大正3年に建設された陸軍の兵站施設。鉄筋コンクリート造と煉瓦造を併用する希少な建造物で、鉄筋コンクリート造として現存最古級。カーン式鉄筋コンクリート、コンプレッソル杭等、先駆的な技術を用いる。戦後継続して使用されてきた被爆建物でもあり、旧陸軍被服廠の関連施設の内、現存唯一の遺構としても歴史的に価値が高い。

【重要文化財 新指定の部】

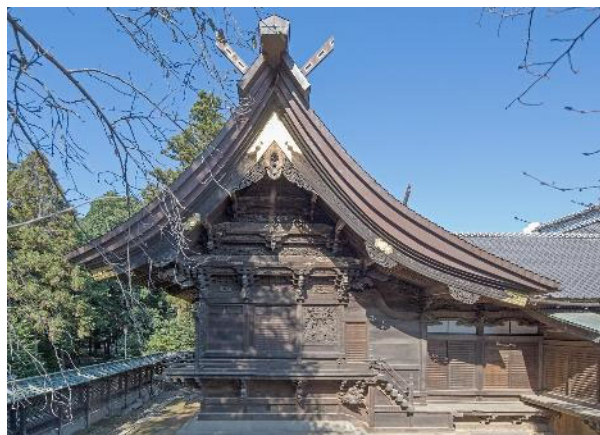
① 内外の装飾の対比が際立つ江戸後末期の関東を代表する社殿（近世以前／神社）

やきゅういなりじんじゃほんでん へいでん はいでん
箭弓稲荷神社本殿・幣殿・拝殿 1棟

所在地：埼玉県東松山市

所有者：宗教法人箭弓稲荷神社

東松山市の中央部に位置する、関東地方において有数の規模を誇る権現造の社殿。天保6年（1835）建立の本殿と幣殿、同11年の拝殿からなる。熊谷を拠点とする大工棟梁飯田和泉藤原金軌と、同じく熊谷で上州の彫物大工の系譜をひく飯田仙之助が手掛けた



撮影：ものづくり大学 横山研究室

社殿は、素木とする外部の随所に精緻な彫刻を施し、この時期の特徴をよく示す。特に本殿の大きな妻飾は豪壮で、虹梁を三段重ね、彫刻を凝縮し、意匠性に富む。一方、本殿内部には絢爛豪華な極彩色を施し、幣殿・拝殿内部の彩色・絵画・彫刻も極めて質が高く、外観と好対照をなす。江戸後末期の関東を代表する神社建築として価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、流派的または地方的特色において顕著なもの

② 北丹後地震を乗り越え地域の信仰を集めた希少な木造教会堂（近代／宗教）

きたたんご
みやづせんじゃせいよはねてんしゅどう
宮津洗者聖若翰天主堂 1棟

所在地：京都府宮津市

所有者：カトリック京都司教区

宮津市の中心市街地に位置する。明治中期にカトリック教会が教線を拡大する中、但馬から若狭地域に布教を進めたルイ・ルラーブ神父の設計で、明治29年に建築された木造教会堂。三廊バシリカ式で、外観はロマネスク様式を基調とし、正面中央に大きな薔薇窓を飾る。地元大工が施工を担い、内部の板張りとしたリブヴォールト天井の細工は巧みであり、ステンドグラスの窓は引分としている。畳敷きの会衆席が当時の布教の様子を伝える。昭和2年の北丹後地震で被災後、正面ファサードなどを改めたが、長崎以外に現存する木造カトリック教会堂として最古級の遺構であり貴重。



天主堂内部

提供：京都府文化財保護課

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

③ ^{せいしよくまち か や}製織町加悦において独自の発展を遂げた地区を代表する大型民家（近世以前／民家）

^{きゅうびとうけいじゅうたく}旧尾藤家住宅（^{よさぐんよさのちやう}京都府与謝郡与謝野町

^{かや}加悦） 8棟

^{おもや}主屋、^{おくざしき}奥座敷、^{うちぐら}内蔵、^{しんざしき}新座敷、^{ぎつぐら}雑蔵、

^{しんぐら}新蔵、^{おくぐら}奥蔵、^{こめぐら}米蔵

所在地：京都府与謝郡与謝野町

所有者：与謝野町

京都府北部の与謝野町加悦に所在する。江戸中期から製織を主産業として発展した重要

伝統的建造物群保存地区与謝野町加悦を代表する縮緬織維問屋で、地区最大級規模の敷地をもつ。幕末に^{たじま}但馬地域から移築された主屋は地区内最古級で、^{たんご}但馬と丹後双方の民家の特徴を巧妙に採り入れ、その後建築された加悦地区の主屋に影響を及ぼした。敷地は、正面に^{まえにわつき}前庭付の主屋が建ち、背後の中庭周囲に奥座敷、新座敷、奥蔵などを整える独特の屋敷構え。新築や増改築、移築や^{ひきや}曳家など建築の経緯が明らかで、洋風の応接間や書斎、煎茶趣味の新座敷など、近代化に伴い新味を加えて形成された屋敷は、近世末期から近代にかけて繁栄した加悦の変容をうつしている。

○指定基準＝流派的または地方的特色において顕著なもの



提供：京都府文化財保護課

④ ^{たけだごいち}建築家武田五一による^{かけづくり}懸造の大堂で、^{ぶつどう}近代仏堂の傑作（近代／宗教）

^{えんぎやうじまにでん}円教寺摩尼殿 1棟

所在地：兵庫県姫路市

所有者：宗教法人円教寺

兵庫県姫路市街北西に位置する^{しよしゃざん}書写山円教寺の中心仏堂。大正10年の焼失後、中世に^{さかのぼ}遡る前身建物の規模と構成を^{とうしゅう}踏襲し、近代に進展した古代から中世の寺院建築への理解を背景に新たな解釈を加えて、昭和8年に再

建された。設計は建築家の武田五一。斜面に張り出し、^{かけづくり}懸造とした^{くたい}躯体は木太く豪壮で、柱の^{すみの}隅延びを用いた^{のき}軒の曲線は優美であり、^{えんした}軒と^{みてさき}縁下に^{くみもの}三手先の組物が整然と並ぶ姿は圧巻である。^{かえるまた}鬘股、^{きばな}木鼻、^{こうざま}格狭間など細部の彫刻は、中世の意匠を参考に、新味のある独特かつ華やかな意匠にまとめている。近代に再建した寺院建築の中でも規模が大きく、全体バランス、細部意匠とも質が高い均整のとれた近代の寺院建築の傑作として意匠的に優れている。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



提供：姫路市教育委員会

⑤ 高野山真言宗を統べる総本山寺院の壮麗な本坊建築群（近世以前／寺院）

金剛峯寺本坊 12棟

大主殿及び奥書院、真然堂、護摩堂、
鐘楼、経蔵、山門、会下門、かご堀、
築地堀



所在地：和歌山県伊都郡高野町

所有者：宗教法人金剛峯寺

紀伊山地北方の山上盆地高野山の中央に所

在する、高野山真言宗の総本山。中心をなす大

主殿及び奥書院は、客殿と庫裏、書院を接続した複合建築で、文久2年（1862）の建築。独特の間取と屋根形式を示す、高野山諸寺院に特徴的かつ伝統的な本坊の形式の規範であり、総本山寺院に相応しい破格の規模と威容を誇る。大主殿の上段や上々段、大広間などの諸座敷や、皇族の休憩所や座主の控え間となった奥書院などは、良材を用い、彫刻や絵画、金物などに意匠を凝らして、高い格式を示す。境内には江戸前期から幕末までの、幾多の被災を克服し復興を遂げた堂舎が群として残り、歴史的に価値が高い。

提供：高野町教育委員会

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの

⑥ 先駆的な技術を結集して建造された旧陸軍兵站施設の希少な遺構（近代／その他）

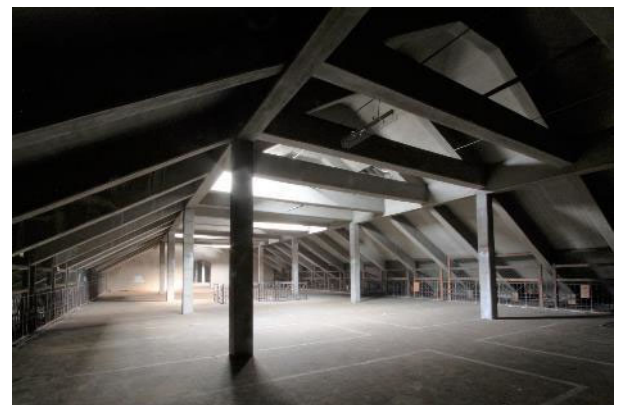
旧広島陸軍被服支廠倉庫施設 4棟

一〇番庫、一一番庫、一二番庫、一三番庫

所在地：広島県広島市

所有者：国（財務省）、広島県

日露戦争後、陸軍における兵站施設の充実のため大正3年に建設された。陸軍本省が設計をつかさどり、陸軍大臣の令達により第五師団が実施設計と工事を担った。柱や梁、スラブなど主な



一三番庫三階内部

提供：広島県

構造を鉄筋コンクリート造、外壁などを

煉瓦造とする希少な建造物で、鉄筋コンクリート造として現存最古級。特異な形状の鉄筋を用いるカーン式鉄筋コンクリートの遺構としても希少。基礎に場所打ちコンクリート杭の嚙矢であるコンプレッソル杭を採用し、屋根はモルタル製の棧に引掛棧瓦を葺くなど、先駆的な技術を用いる。被爆後に臨時救護所となり、以降も継続して使用されてきた被爆建物である。旧陸軍被服廠の関連施設のうち、現存唯一の遺構としても歴史的価値が高い。

○指定基準＝技術的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの

⑦ 航行の難所を守り続けてきた白亜の洋式灯台（近代／産業・交通・土木）

^{つるしまとうだい}
釣島灯台 1基、2棟
^{とうだい きゅうかんしゃ きゅうそうこ}
灯台、旧官舎、旧倉庫

所在地：愛媛県松山市

所有者：国（海上保安庁）、松山市

^{くつなしょとう}
忽那諸島の釣島に建つ石造の洋式灯台。明治6年の建設で高さは9.9m。兵庫の開港にあわせて瀬戸内海に建設された灯台の一つ。

「日本の灯台の父」と呼ばれる英国人リチャード・ヘンリー・ブラントンが明治元年の来日

直後に、立地選定から建設まで主導した我が国最初期の洋式灯台の一つである。航行の難所である伊予灘と安芸灘を行き交う船舶の安全を、明治初期から守り続けてきた洋式灯台として、近代海上交通史上、価値が高い。旧官舎、旧倉庫といった関連施設が、敷地を構成する石垣と共に良好な状態で残る点でも貴重である。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの



提供：松山市教育委員会

⑧ 近代に隆盛した日本酒製造会社の大規模な醸造施設群（近代／産業・交通・土木）

^{とよむらしゅぞうきゅうじょうぞうじょうしせつ}
豊村酒造旧醸造場施設 12棟
^{おもや ほんざしき なんとぐら こうじむろ さかぐら かまば}
主屋、本座敷、納戸蔵、麹室、酒庫、釜場、
^{しこみぐら もととりば ふなぐら しけんしつ}
仕込庫及び配取場、槽倉、試験室、
^{こしゆぐら みなみ こしゆぐら きた さぎょうば}
古酒倉（南）、古酒倉（北）、作業場、

土地

所在地：福岡県福津市

所有者：一般財団法人津屋崎豊村

^{きさぶろうきねんざいだん}
喜三郎記念財団、豊村酒造有限会社

津屋崎の港町に位置する大規模な醸造施設

^{しゅぞうじょ}
群を備えた酒造所。豊村酒造は明治期に当地で創業し、事業拡大とともに住居や醸造施設を増築、大正末期頃までに整備された建物が概ね完存する。主屋は博多の大工が手掛けた大規模な町家で、明治20年の建築。広い土間に見せる曲がった丸太を縦横に組んだ豪壮な梁組や、吹き抜けの二階に高欄や神棚を設ける取次など福岡市近辺の町家の特徴を示す。仕込庫など9棟の醸造施設は明治期から大正期の建築で、大胆な架構により柱を省略し、広大な内部空間をつくる。漆喰塗りの大型町家を正面に構え、大規模な土蔵を外郭に連ねる重厚な建築群が、酒造所の最盛期の姿を現在に伝えている。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの、流派的または地方的特色において顕著なもの



提供：福津市教育委員会

⑨ 伝統薬の製造・販売を営む商家の上質な意匠をもつ大規模な邸宅（近代／住居）

吉田松花堂 9棟

おもや じゅうごじょう おおげんかん しょいん ちゃしつ
主屋、十五畳、大玄関、書院、茶室、

きゅうおよくしつ おべんじょ したのだいどころ どうぞう
旧御浴室及び御便所、下台所、土蔵、

おもてもん
表門、土地

所在地：熊本県熊本市

所有者：個人

吉田松花堂は伝統薬の製造・販売を家業とする商家で、熊本城下の市街地に大規模な敷地を占める。医学を修めた初代吉田順碩が開発した「諸毒消丸」は、日常の携行薬、熊本の名産品として広く普及し、富の蓄積により敷地の拡張を進め、建物を増改築して、明治末期頃に広大な邸宅をなすに至った。伝統薬の店舗・製薬場である主屋は明治11年建築で、通りに面して鼠漆喰塗りの重厚な構えを見せる。主屋は、造付けの薬棚や旧製薬場、イッカクの角を用いた違棚など家業にまつわる設えが独特で、中国風意匠の二階座敷、華やかな杉戸絵など意匠的にも優れている。同時期建築の土蔵とともに近代の製薬・売薬を営む商家の構えを遺す。賓客の宿泊施設にもなった端正な広間の十五畳、材の取り合わせが華やかな茶室などを含め、意匠の優れた近代和風建築群として価値が高い。



十五畳広間 提供：吉田松花堂建造物等調査委員会

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの